

Tajima Shinkin Bank

《たしん》の現況
2009.9
中間期レポート

たしんは、皆様に経営内容や活動についてより一層ご理解頂き、引続き安心してお取引頂けますよう、平成21年度上半期(平成21年4月1日～平成21年9月30日)における主な経営状況についてご報告申し上げます。

損益の状況

平成21年9月期決算は、資産の健全性確保のため諸償却並びに諸引当金の繰入を行なうとともに、資金の効率的な運用と経営全般の合理化に努めた結果、当期純利益は5億22百万円と、昨年より増益となりました。引続き安定的な収益確保により経営基盤の強化に努めてまいります。

(単位:百万円)

| | 平成20年9月末 | 平成21年9月末 |
|--------|----------|----------|
| 業務純益 | 733 | 365 |
| コア業務純益 | 447 | 308 |
| 経常利益 | 483 | 465 |
| 当期純利益 | 352 | 522 |

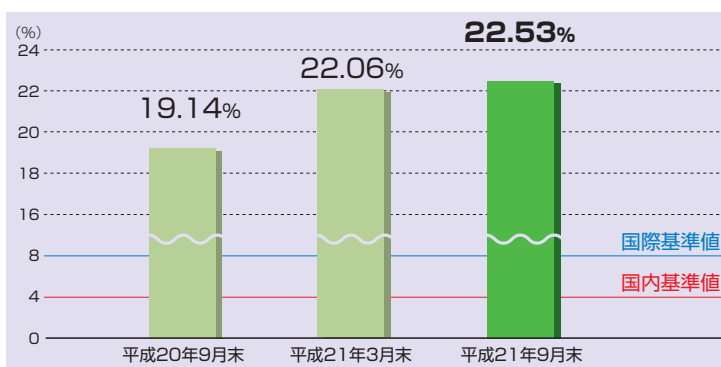
*コア業務純益は金融機関本来の業務から生ずる収益力を表すもので、業務純益から一時的な変動要因である債券関係損益や一般貸倒引当金繰入額を除いたものです。

自己資本の状況等について

●自己資本比率の状況

自己資本比率は金融機関の経営の健全性を示す主要な指標の一つとされ、当金庫は、お客様に安心してお取引頂くため、自己資本の充実、自己資本比率の向上に努めております。

平成21年9月末の自己資本比率は22.53%で、引続き高水準を維持することができました。この数値は、早期是正措置で義務付けられている国内基準(4%)を大幅に上回っております。また、金融業界でも高位に位置し、当金庫の健全性、安全性を示しております。



*平成21年3月末から24年3月末までの間は、金融機関に対し「自己資本比率規制の一部を弾力化する特例」が適用されています。(適用前の基準では、平成21年3月末が19.53%、21年9月末が21.90%です)

●自己資本の構成に関する事項

自己資本調達手段の概要

- 自己資本を構成する主なものは、基本的項目(Tier1)と補完的項目(Tier2)です。
- 基本的項目は会員の皆様からお預かりしている出資金や、当金庫が積み立てている特別積立金があります。
なお、その他有価証券で評価損がある場合はこれを控除することとなっておりますが、平成21年3月末および平成21年9月末については、自己資本比率規制の一部を弾力化する特例(平成20年金融庁告示第79号)に基づき、「その他有価証券の評価差損」を基本的項目から控除しておりません。
(自己資本比率規制の一部弾力化の適用は、平成21年3月期決算から平成24年3月期決算までの間です。)
- 補完的項目を構成する主なものは、一般貸倒引当金(偶発損失引当金を含む)です。

(単位:百万円)

| 項 目 | 平成21年3月末 | 平成21年9月末 |
|--------------------------------|----------|----------|
| (自 己 資 本) | | |
| 出資金 | 863 | 861 |
| └─うち非累積的永久優先出資 | — | — |
| 利益準備金 | 865 | 865 |
| 特別積立金 | 33,000 | 33,000 |
| 次期繰越金 | 874 | 1,396 |
| 処分未済持分 | △ 7 | △ 6 |
| 基本的項目(A) | 35,595 | 36,116 |
| 一般貸倒引当金 | 490 | 183 |
| 補完的項目(B) | 490 | 183 |
| 自己資本総額[(A)+(B)](C) | 36,086 | 36,299 |
| 他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額 | 2,700 | 2,700 |
| └─負債性資本調達手段及びこれに準ずるもの | — | — |
| └─期限付劣後債務及び期限付優先出資並びにこれらに準ずるもの | 2,700 | 2,700 |
| 控除項目不算入額 | △ 2,700 | △ 2,700 |
| 控除項目計(D) | — | — |
| 自己資本額[(C)-(D)](E) | 36,086 | 36,299 |
| (リスク・アセット等) | | |
| 資産(オン・バランス項目) | 148,540 | 146,148 |
| オフ・バランス取引項目 | 3,436 | 3,338 |
| オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額 | 11,563 | 11,563 |
| リスク・アセット等計(F) | 163,541 | 161,049 |
| 単体Tier1比率(A/F) | 21.76% | 22.42% |
| 単体自己資本比率(E/F) | 22.06% | 22.53% |

(注) 1. 信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会その保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するために金融庁長官が定める基準に係わる算式に基づき算出しております。

なお、当金庫は国内基準を採用しております。

2. 平成21年3月末の自己資本比率については、「その他有価証券評価差損」の額(4,139百万円)を控除して計算した場合、19.53%となります。また、平成21年9月末の自己資本比率については、「その他有価証券評価差損」の額(1,020百万円)を控除して計算した場合、21.90%となります。

●自己資本の充実度に関する事項

自己資本の充実度に関する評価方法の概要

- 自己資本の充実度に関し、自己資本比率は国内基準の4%を大幅に上回っております。
また、金融業界でも高位に位置し、当金庫の健全性、安全性を示すものとなっております。
- 特定のポートフォリオ・アセットが極度に集中することなく、リスクの分散を図っております。
- 自己資本充実策については、年度毎に掲げる諸計画に基づいた業務活動から得られる利益を着実に積上げることに重点を置いております。
- 自己資本の充実度に関する評価については、当金庫が整備している統合的なリスク管理態勢の下、リスク資本配賦を実施しております。
具体的には、信用リスク・市場リスク・オペレーショナルリスクの3つのリスクに対して各々資本配賦を行い、計量化したリスク量が配賦したリスク資本の枠内にコントロールできるよう運営を行っております。また、自己資本の充実度に関する評価方法は、統合的に把握したリスクがすべて同時に顕在化した場合を想定し、現在の自己資本から差し引き、リスク顕在化後の自己資本比率を計算しております。
現状、計算した自己資本比率は国内基準4%を大幅に上回っており、経営の健全性・安全性を十分保っていける水準であると自己評価しております。

(単位:百万円)

| | 平成21年3月末 | | 平成21年9月末 | |
|---|----------|---------|----------|---------|
| | リスク・アセット | 所要自己資本額 | リスク・アセット | 所要自己資本額 |
| イ. 信用リスク・アセット・所要自己資本の額合計 | 151,977 | 6,079 | 149,486 | 5,979 |
| ①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー | 151,977 | 6,079 | 149,483 | 5,979 |
| 現金 | - | - | - | - |
| 我が国の中央政府及び中央銀行向け | - | - | - | - |
| 外国の中央政府及び中央銀行向け | 16 | 0 | 18 | 0 |
| 国際決済銀行等向け | - | - | - | - |
| 我が国の地方公共団体向け | - | - | - | - |
| 外国の中央政府以外の公共部門向け | 622 | 24 | 225 | 9 |
| 国際開発銀行向け | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 地方公営企業等金融機構向け | 10 | 0 | 10 | 0 |
| 我が国の政府関係機関向け | 851 | 34 | 852 | 34 |
| 地方三公社向け | 90 | 3 | 91 | 3 |
| 金融機関及び第一種金融商品取引業者向け | 30,024 | 1,200 | 32,776 | 1,311 |
| 法人等向け | 57,250 | 2,290 | 53,011 | 2,120 |
| 中小企業等向け及び個人向け | 28,364 | 1,134 | 28,582 | 1,143 |
| 抵当権付住宅ローン | 5,505 | 220 | 5,276 | 211 |
| 不動産取得等事業向け | 8,664 | 346 | 9,226 | 369 |
| 三月以上延滞等 | 1,307 | 52 | 2,234 | 89 |
| 取立未済手形 | 7 | 0 | 8 | 0 |
| 信用保証協会等による保証付 | 1,403 | 56 | 851 | 34 |
| 株式会社産業再生機構による保証付 | - | - | - | - |
| 出資等 | 5,654 | 226 | 5,516 | 220 |
| 上記以外 | 12,203 | 488 | 10,800 | 432 |
| ②証券化エクスポージャー | - | - | - | - |
| 証券化 (オリジネーター) | - | - | - | - |
| 証券化 (オリジネーター以外) | - | - | - | - |
| ③複数の資産を裏付とする資産 (所謂ファンド)のうち、個々の資産の把握が困難な資産 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| ロ. オペレーショナル・リスク | 11,563 | 462 | 11,563 | 462 |
| ハ. 単体総所要自己資本額 (イ+ロ) | 163,541 | 6,541 | 161,049 | 6,441 |

(注) 1. 所要自己資本の額=リスク・アセット×4%

2. 「エクスポージャー」とは、資産 (派生商品取引によるものを除く) 並びにオフバランス取引及び派生商品取引の与信相当額です。

3. 「三月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「我が国の中央政府及び中央銀行向け」～「地方三公社向け」、「金融機関および第一種金融商品取引業者向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。

4. オペレーショナル・リスクは、当金庫は基礎的手法を採用しています。

＜オペレーショナル・リスク (基礎的手法) の算定方法＞

$$\frac{\text{粗利益 (直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

5. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

預金・貸出金の状況

● 預金の状況

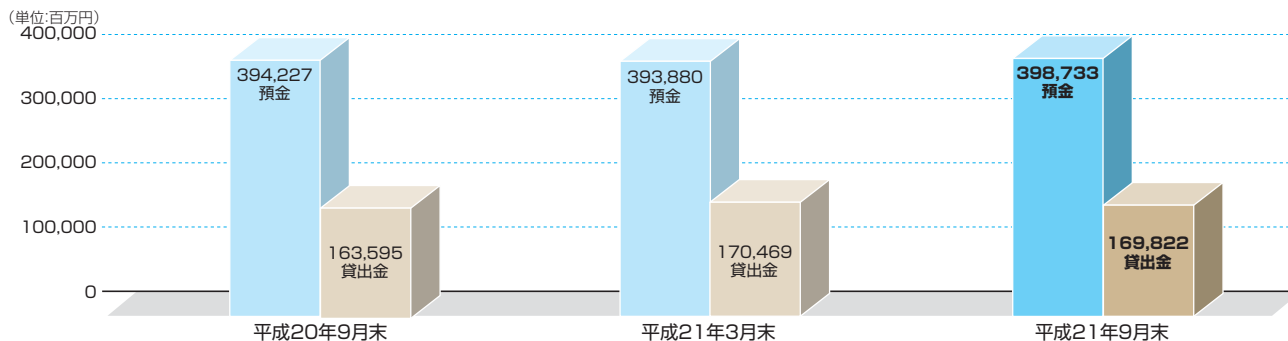
預金残高については、平成21年3月末に比べ流動性預金は法人預金を主体として14億70百万円の増加となり、定期性預金は金利上乘せ定期預金等の推進により33億4百万円増加し、全体では48億53百万円増加しました。

● 貸出金の状況

たんしんは裾野金融に徹し、地元で資金を必要とするお客様に融資を行い、事業の繁栄や生活レベル向上のお手伝いをすることで貸出金の増加に努めておりますが、依然として厳しい地域経済の現況から資金需要は弱く、平成21年3月末に比べ6億47百万円減少しました。

(単位:百万円・%)

| | 平成20年9月末 残高 | 20年3月末 対比増減率 | 平成21年3月末 残高 | 20年9月末 対比増減率 | 平成21年9月末 残高 | 21年3月末 対比増減率 |
|-----|----------------|-----------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|
| 預金 | 394,227 | 0.21 | 393,880 | ▲0.08 | 398,733 | 1.23 |
| 貸出金 | 163,595 | ▲1.87 | 170,469 | 4.20 | 169,822 | ▲0.37 |



● 貸出金の業種別内訳

地域のお客様からお預かりした大切な資金(預金)は、地域経済の発展、繁栄に資するため、特定のお取引先や業種、地域に偏ることなく、幅広くご利用いただくよう心掛けております。

総貸出金のうち、中小企業先への事業性資金は、平成21年3月末に比べ13億40百万円増加しました。

(単位:百万円)

| | 平成20年9月末 | 平成21年3月末 | | 平成21年9月末 |
|---------------|----------|----------|-----------------|----------|
| 製造業 | 12,436 | 12,391 | 製造業 | 12,516 |
| 農業・林業・漁業 | 401 | 344 | 農業、林業 | 343 |
| | | | 漁業 | 29 |
| 鉱業 | — | — | 鉱業、採石業、砂利採取業 | 6 |
| 建設業 | 20,418 | 21,112 | 建設業 | 22,017 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 0 | 0 | 電気・ガス・熱供給・水道業 | — |
| 情報通信業 | 313 | 281 | 情報通信業 | 405 |
| 運輸業、郵便業 | 1,327 | 1,232 | 運輸業、郵便業 | 927 |
| 金融業、保険業 | 5,901 | 3,903 | 金融業、保険業 | 4,205 |
| 卸売業 | 5,019 | 5,261 | 卸売業 | 5,089 |
| 小売業 | 9,420 | 8,975 | 小売業 | 9,513 |
| 不動産業 | 10,699 | 9,686 | 不動産業 | 10,001 |
| サービス業 | 28,741 | 27,919 | 物品賃貸業 | 299 |
| | | | 学術研究、専門・技術サービス業 | 461 |
| | | | 宿泊業 | 7,428 |
| | | | 飲食業 | 5,527 |
| | | | 生活関連サービス業、娯楽業 | 3,513 |
| | | | 教育、学習支援業 | 528 |
| | | | 医療・福祉 | 5,291 |
| | | | その他のサービス | 4,342 |
| 小計 | 94,679 | 91,110 | 小計 | 92,449 |
| 地方公共団体 | 21,807 | 32,374 | 地方公共団体 | 31,123 |
| 個人 | 47,108 | 46,985 | 個人(住宅・消費・納税資金等) | 46,250 |
| 合計 | 163,595 | 170,469 | 合計 | 169,822 |

(注)業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。なお、日本標準産業分類の改定に伴い、平成21年9月末より改定後の日本標準産業分類に準じて区分しております。

TOPICS

当金庫は地域経済の活性化や地域社会の発展に寄与できるよう、さまざまな活動に取り組んでいます。

地域・社会貢献活動

財団法人たんしん地域振興基金の活動

◆「助成先決定」通知書交付式(4月17日)



但馬地域の活性化のお役に立てよう、地域社会活動や産業活性化活動を行う諸団体に対し、毎年、助成金を交付しています。(今年度は、6団体に123万円を助成。)

◆「たんしん経営塾」第9期開講式を開催(9月16日)



但馬地域の産業の明日を担う若手経営者の育成をお手伝いするために「たんしん経営塾」を開講し、定期的・継続的な勉強会と異業種交流を図っています。また、講座修了者の更なる交流と相互啓発の場としてOB会を組織し、現在約130名が会員となっています。

経営者セミナー、経済講演会、個別経営相談会の開催

◆経営者セミナーの開催(8月19日)

「リッツ・カールトンで学んだ仕事でいちばん大事なこと」

講師：林田 正光 氏

(株)HAYASHIDA-CS総研 代表)

財)たんしん地域振興基金と連携し、CS・ホスピタリティサービスの実践、指導について、講師を招聘しセミナーを開催しました。



◆経済講演会の開催(8月28日)

「いま、必要な時代認識」～混迷の時代を切り開いていくために～

講師：金子 勝 氏

(慶應義塾大学経済学部教授)

テレビでも活躍の金子教授を招き、延末支店のオープンを記念して、姫路で講演会を開催しました。



◆個別経営相談会の実施(随時受付)

経営者の皆様からの様々なお悩みの申し出に対しまして、経営相談や金融相談、外部専門家の紹介等を随時実施しておりますので、お気軽にご連絡ください。

CSR(企業の社会的責任)活動の推進

◆「チーム・マイナス6%」への参加

地球温暖化の一因とされる温室効果ガスを抑制するための日本政府が推進するプロジェクト「チーム・マイナス6%」へ参加し、冷暖房時の設定室温の統一、クールビズやウォームビズ等を実施しています。



◆AED(自動体外式除細動器)の全店設置

心臓発作など心停止状態に対し、心拍を回復させる装置「AED」を全店に設置し、来店者や通行者の緊急事態に備えています。

◆「コウノトリ基金」への寄付活動に参加

地域の環境保全や但馬地域振興のシンボルであるコウノトリの野生復帰事業に賛同し、職員用飲料水自動販売機の売上高の一部を「豊岡市コウノトリ基金」へ寄付する活動を行っています。

◆「献血」や「清掃作業」を実施

- 地域の事業である「献血」活動へ毎年、積極的に協力しています。(10月6日)
 - 毎年、「信用金庫の日」にちなみ、全店一斉に地域の清掃作業を実施しています。(6月20日)
- このほか、地域のまつりへの協賛、参加をしています。



商品・サービスのご案内

◆「たんしんの定期(てーき)対策」で個人のお客様に特別金利サービスを実施

3年と1年の定期預金を特別金利で、お預かりしております。

(ご継続後の金利は、継続時の店頭表示金利が適用されます。)

金利(税引前):3年 年0.40%
:1年 年0.25%

ATMでのお預入れの場合は
更に年0.05%アップ

預入金額:10万円以上1,000万円未満
取扱期間:平成21年12月30日まで



◆お客様の就学、車に関する費用、あらゆる消費資金等に

「進学ローン」
「マイカーローン」
「スピードローン」をご

用意しております。また、その他、資金用途に応じた商品を取り揃えております。



◆住宅の新築・購入、増改築、エコ等の設備資金、介護機器購入などのご利用に

たんしんの「住宅ローン」「リフォームローン」
「リフォームローン快適ライフⅡ」

“子育て世帯の方、エコ住宅にされる方、住宅支援機構ご利用の方、お取引状況”に応じて、当金庫基準金利より一定の金利を引き下げしております。

*商品については、お客様のライフスタイルや様々なニーズにお応えできますよう、各種取揃えておりますので、お尋ねください。

◆姫路地区へ「延末(のぶすえ)支店」をオープン(6月29日)

姫路地区で3番目の店舗をJR姫路駅南側へ新設しました。



場 所
姫路市東延末2丁目136番地

☎(079)226-1200

ATM利用時間

平 日 午前8:00~午後8:00
土・日・祝日 午前8:45~午後6:00

金融犯罪への対応について

近年、口座の不正開設・不正利用やキャッシュカードの盗難・偽造、「振り込み詐欺」等により、不正に預金を引き出す犯罪が多発しています。当金庫では、お客様に「安心」「安全」にお取引いただくために、窓口での厳正なご本人確認や生体認証付ICキャッシュカードの取扱い、ATM機によるキャッシュカードの暗証番号の変更サービス、インターネットバンキング等のセキュリティ強化などの対策を行っておりますが、お客様におかれましては詐欺等に遭われませんよう十分ご注意ください。


なお、万一、被害に遭われた場合は以下へお知らせください。

◆カード・通帳等の偽造・盗難・紛失の場合:当金庫本支店または0120-839-939

◆「振り込み詐欺」の場合:振り込み先の金融機関へご連絡ください。

当金庫へのご連絡は、当金庫本支店または
0120-615-120



 但馬信用金庫

〒668-8655 兵庫県豊岡市中央町17番8号 Tel.0796-23-1200

<http://www.tanshin.co.jp/>

